

施設名称	身体障害者生活ホーム フロム千束	指定管理者の名称	社会福祉法人台東つばさ福祉会
------	------------------	----------	----------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	障害者福祉施設（身体障害者通所授産施設 1、身体障害者生活ホーム 1、知的障害者グループホーム 7）の運営、就労支援事業、障害児放課後対策事業の受託運営
②類似施設の管理実績	同上
③経営状況	（平成 20 年度決算） 〔社会福祉法人会計〕 歳入 231,721,885 円 歳出 230,931,976 円 収支差額 789,909 円 〔授産施設特別会計〕 歳入 102,631,437 円 歳出 102,080,937 円 収支差額 550,500 円 〔公益事業特別会計〕 歳入 22,781,605 円 歳出 22,781,605 円 収支差額 0 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区千束 3-28-13
②設置目的	心身障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進するため
③利用者	台東区内に住所を有する心身障害者
④開館日・時間	通年・24 時間
⑤規模	千束保健福祉センター内 RC 造 地上 7 階地下 2 階のうち 2 階の一部 延 6,733.87 ㎡のうち 2 階 337.08 ㎡ 居室 7、介護人室 2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ
⑥人員体制	7 名 【内訳】 施設長 1（兼務）、生活支援員 常勤 4 非常勤 2

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	①入居事業 福祉ホームを生活の拠点として入居してもらい、一人ひとりの個性にあった地域における自立生活を送るための支援を行っている。 ②自立生活体験事業 在宅の身体障害者に一定期間（2～3 か月間）の入居生活を体験してもらうことによって、自立生活能力の向上を目指している。
②自主事業	なし

4. 施設の稼働状況等

20 年度利用実績 利用率 100%
 ◆入居事業（定員 5 名）・・・男性 2 名、女性 3 名 年齢 32～45 歳
 ◆自立生活体験事業（定員 2 名）
 実利用者数・・・男性 6 名、女性 5 名 年齢 18 歳～48 歳（うち新規利用者 3 名）

5. 予算決算の推移

（単位：円）

		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	委 託 料	34,224,000	31,383,000	35,180,000	39,168,000	41,202,000
	料 金 収 入 等	1,986,000	2,920,000	2,253,000	2,253,000	2,253,000
	管 理 経 費	36,210,000	34,303,000	37,433,000	41,421,000	43,455,000
決 算	委 託 料	30,101,120	30,762,270	33,493,162	35,200,511	
	料 金 収 入 等	2,017,351	2,520,975	2,421,429	2,362,316	
	管 理 経 費	32,118,471	33,283,245	35,914,591	37,562,827	
	収 支	0	0	0	0	

6. 指標

指標名称	単位	目標値 (22 年度)	19 年度	20 年度	21 年度
年間延月単位利用者数	人	84	84	84	
利用率	%	100	100	100	

7. 評価項目		3 : 協定等の水準を上回っている。 2 : おおむね協定等の水準どおりである。 1 : 協定等の水準を下回っている。 — : 評価対象外項目	
評価の観点	評価項目		
①事業の運営 平均 [2.0]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [2]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [—] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]	
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [—] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [2] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]	
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費削減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]	
8. 評価		A+ (良好) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善) : 協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。	
評価の観点	評価	説明	
①事業の運営	A	入居事業(定住)及び体験入居の稼働率は100%であり、事業の運営は、概ね良好に行われている。	
②施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は、概ね適切になされている。	
③利用者の満足度	A	利用者とのミーティングを定期的に行い、利用者の要望等を聞く機会を設けているが、今後、利用者アンケートを行い、広く利用者の要望等を聞き、施設運営に反映させることにより、サービスの向上に努める。	
④歳入歳出	A	現状では妥当であるが、今後は、さらに経費の削減に努め、効率的な運営を目指す。	
⑤総合評価	A	指定管理者による施設管理は概ね適切である。	
9. 課題への対応等			
22年度、千束保健福祉センターの改修工事に伴い、フロム千束の増床工事が予定されている。工事期間中は、入居事業の利用者が移転するため、その利用者の調整や増床工事後の施設のあり方についての検討が必要であり、区と指定管理者は、より一層連絡を密にし、協働して課題に取り組んでいく。			